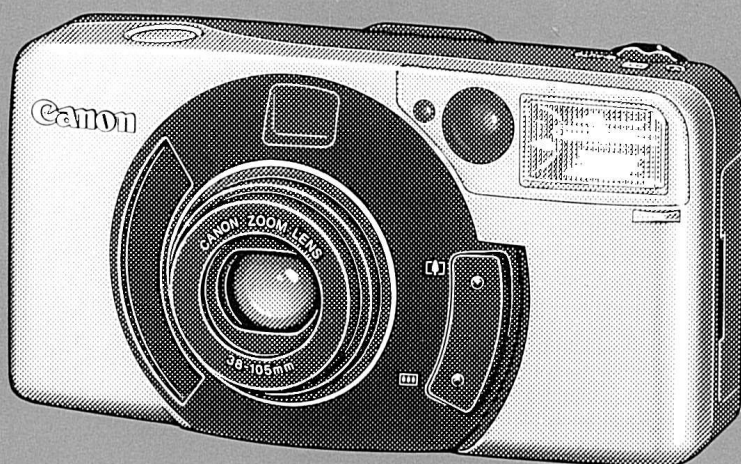


Canon

Autoboy Luna 105



はじめに

基本編

応用編

資料編



J

日本語版

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。
カメラをご使用の前にこの使用説明書をよくお読みになり、
カメラを手に取りながら操作に慣れたうえで、正しくお使い
ください。

目次

●本書の構成

この使用説明書は、基本編、応用編、資料編と段階的に分類
してあります。初めてカメラをお使いになる方は始めから順
にお読みください。

■本文中のマークについて



撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが
書かれています。



カメラの基本操作に加えて知っておいていただき
たい事項が書かれています。



カメラ操作上あるいは撮影時のヒントが書かれて
います。

はじめに






目次	2
安全上のご注意	4
操作早わかり	8
各部の名称	10

基本編

カメラに慣れよう	12
①電源を入れる、切る	12
電池をチェックする	13
②ファインダーをのぞく	14

③写したいものの大きさを決める	15
④シャッターをきる	16
カメラの構え方	17
フィルムを入れる	18
撮影する（全自動撮影）	20
緑ランプ・オレンジランプについて	21
フィルムを取り出す	22
電池を交換する	23

応用編

フォーカスロック撮影	24
（写したいものをファインダーの端に置いて撮影する）	
AiAFについて	25
パノラマモード撮影 	26
パノラマプリントについて	27
日付／時刻を写し込む	28
日付／時刻をセットする	29
撮影モードを変える	30
①ストロボオート／赤目緩和なし AUTO	31
（自動的にストロボを発光させる）	
②ストロボオート／赤目緩和  AUTO	32
（自動的に赤目緩和ランプを点灯し、ストロボを発光させる）	
赤目緩和撮影機能について	33
③ストロボONモード 	34
（明るい場所でストロボを発光させる）	
④ストロボOFFモード 	35
（暗い場所でもストロボを発光させない）	
⑤リアルタイムリリースモード RT	36
⑥セルフタイマーモード 	38
スローシンクロについて	39

資料編

こんなときは	40
Q&A	41
主な仕様	42
アフターサービスについて	裏表紙

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

その他の絵表示の例

行為を禁止する記号



禁止



接触禁止

○ 記号は、行為を禁止する内容を告げるものです。

○ の中に具体的な禁止内容が書かれています。

警告（電池について）



このカメラで指定されていない電池は、使用しないでください。電池（乾電池）の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



電池を火の中に入れてたり、分解、加熱、ショートは絶対しないでください。また、水の中に入れてたりしないでください。電池（乾電池）の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



アルカリ電池、リチウム電池など充電できない電池を無理に充電しないでください。電池（乾電池）の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



電池を取り外した場合は、お子様の手の届かないところへ置いてください。万一、飲み込んだ場合、電池が壊れて電池の液で胃、腸等が冒される恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。



万一、カメラ（電池）が熱くなる、煙がでる、焦げ臭い等の異常状態が起こった場合、そのまま使用すると火災、火傷の原因になります。火傷には、十分注意しながら速やかに電池を取り出し、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



電池を廃棄する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。



電池の「+」と「-」の接点を正しく入れてください。電池（乾電池）の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



警告（ストロボについて）



車の運転者等にむけてストロボを発光しないでください。事故の原因となります。



ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると視力障害を起こす危険性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。



ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、ストロボ部に触らないでください。火傷の原因となります。



警告（その他取り扱いについて）



自分でカメラを分解、改造しないでください。高電圧がかかり感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。



落下等により、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



カメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。



カメラは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。








湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電の原因となります。



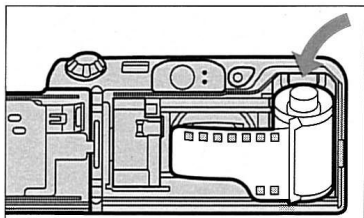
自動車などの運転中に運転者は、カメラを絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。

注意（その他取り扱いについて）

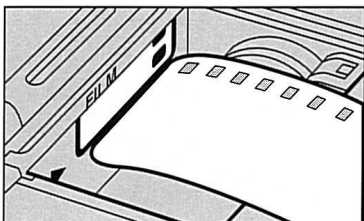
-  カメラを高温状態の車の中に放置したり、熱いものの近くに置いたりしないでください。カメラ自体が高温になり、触ると火傷の原因となることがあります。
-  カメラを低温状態中に放置したりしないでください。カメラ自体が低温になり、触るとけがの原因となることがあります。
-  カメラをストラップで下げているときは、他の物に引っ掛かったりしないように注意してください。けがをする原因となることがあります。
-  カメラを三脚に取り付けたまま移動しないでください。つけたまま移動するとつまずいたり、ぶついたりしてけがや事故の原因となることがあります。また、三脚はカメラに対して十分に強度のあるものをご使用ください。
-  万一、カメラごと水に落としたり、内部に水が入った場合は、電池を抜いて、速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

操作早わかり

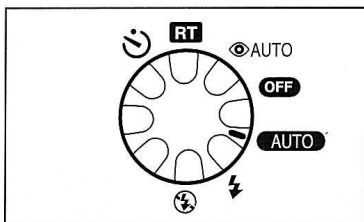
詳しくは説明のページ (→ ■) をご覧ください。



- ① フィルムを入れる。
(→18)

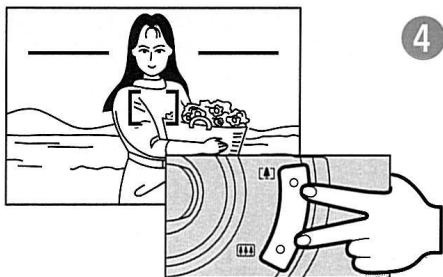


- ② フィルム先端を先端
マークに合わせ、
背ぶたを閉じる。
(→18)

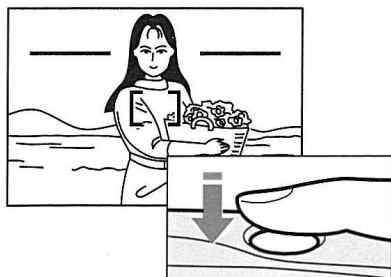


- ③ モードダイヤルを
AUTO に合わせる。
(→12)

→電源が入り、レンズがセッ
トされます。



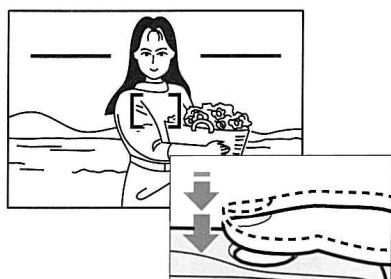
- ④ 写したいものの
大きさを決める。
(→15)



5 AFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押す。

(→16)

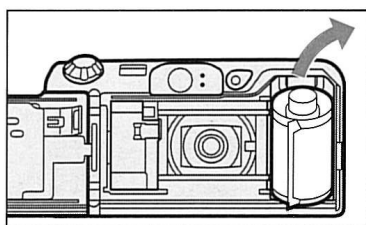
- シャッターボタンは軽く押したままにしてください。
- 緑ランプが点灯したことを確かめてから、構図を決めます。



6 そのままさらにシャッターボタンを押す。

(→16)

- 逆光や暗いところではストロボが自動的に発光します。

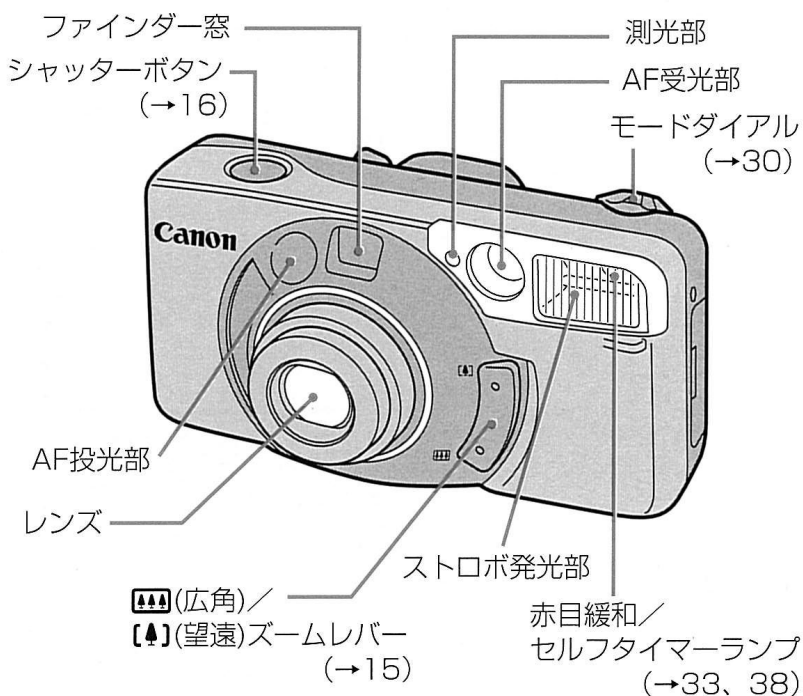


7 撮影が終わり、フィルムが巻き戻ったらフィルムを取り出す。

(→22)

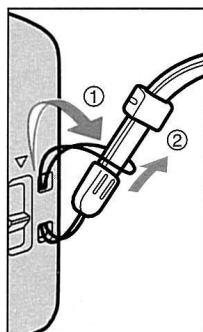
各部の名称

(→ ■) は、参照ページです。



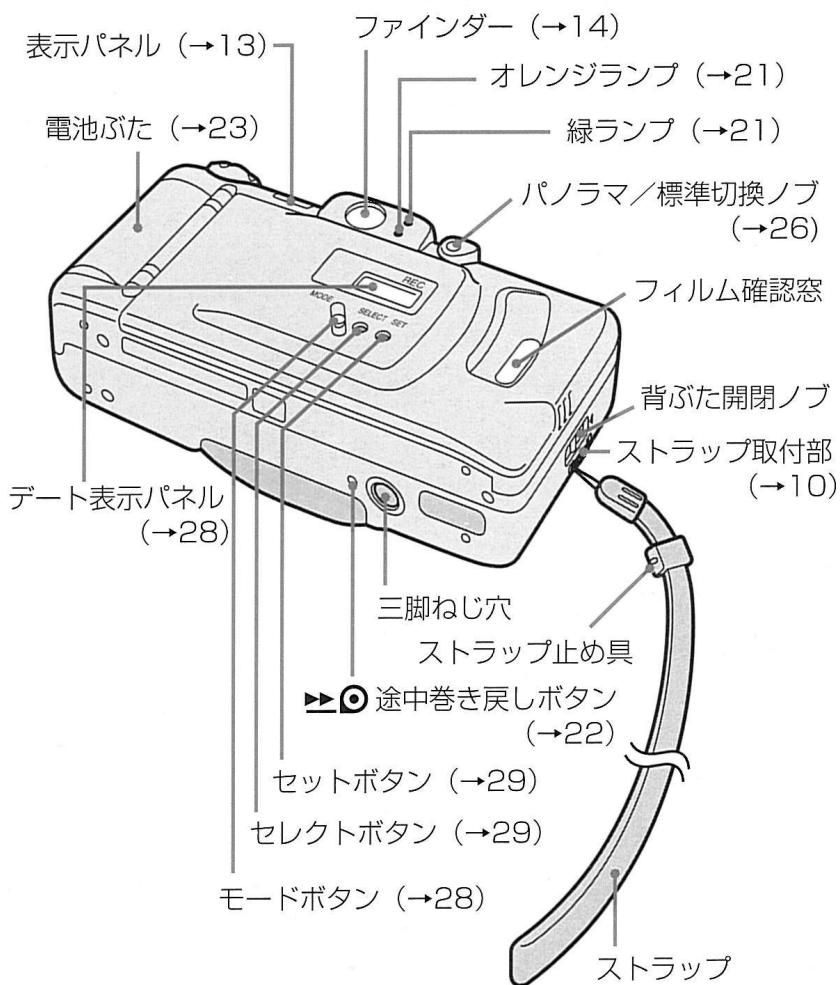
ストラップの取り付け方

カメラを落とさないように、付属のストラップをカメラに取り付けて使用してください。

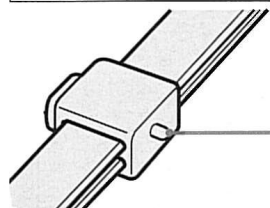


左のストラップ取り付け部に
ストラップを通す。

●①～②の順に通します。



ストラップ止め具の突起について



操作突起

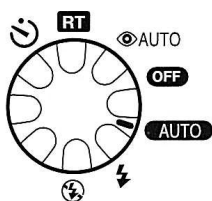
- セレクト/セットボタン (→29)、途中巻き戻しボタン (→22) を押すときに使用します。

カメラに慣れよう

1 電源を入れる、切る

モードダイヤルをOFF以外に合わせれば、電源が入り、撮影ができます。

電源を入れる



モードダイヤルを
OFF 以外に合わせる。

→レンズがセットされます。



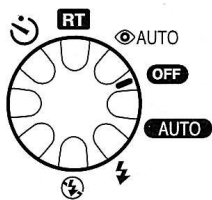
● レンズを手で押さえないでください。



- レンズははじめ広角38mmにセットされます。
- レンズがセットされないときは、正しく電池が入っているかを確認してください。

電源を切る

レンズを保護するために、撮影が終わったら電源を切ってください。



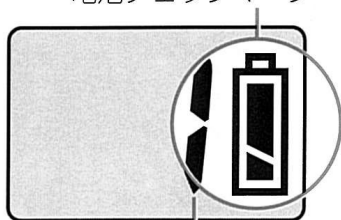
モードダイヤルを
OFF に合わせる。

→レンズが本体に収納されます。

電池をチェックする




電源を入れたとき表示パネルに  が表示されていることを確認してください。

電池チェックマーク



フィルムカウンター

電池チェックマーク

-  ……電池の容量は十分です。
-  ……新しい電池を用意してください。
-  ……新しい電池と交換してください。(→23)

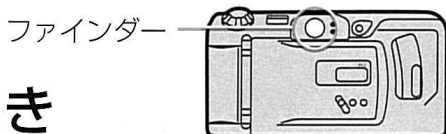
電池寿命は24枚撮りのフィルムで17本（ストロボ50%使用時／当社試験条件による）が目安です。

使用電池はリチウム電池CR123AまたはDL123Aを1個使用します。

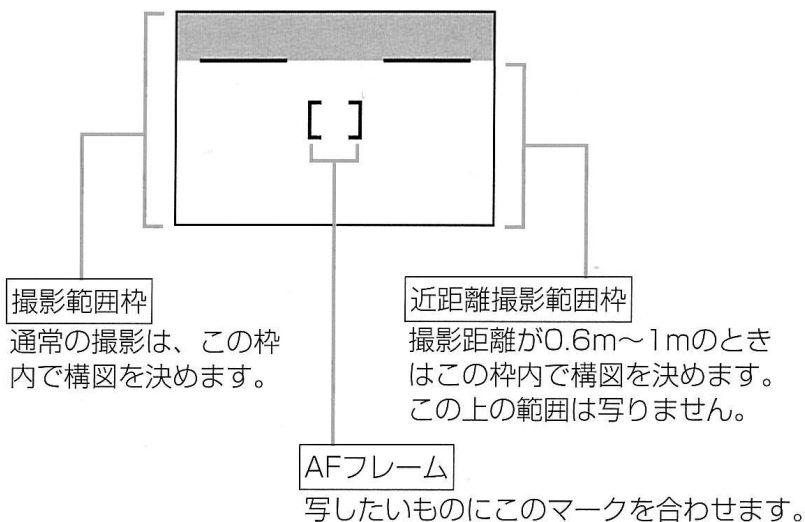


- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- 旅行のときや、写真をたくさん撮るときは、予備の電池をご用意ください。特に海外では電池の入手が困難なことがあります。

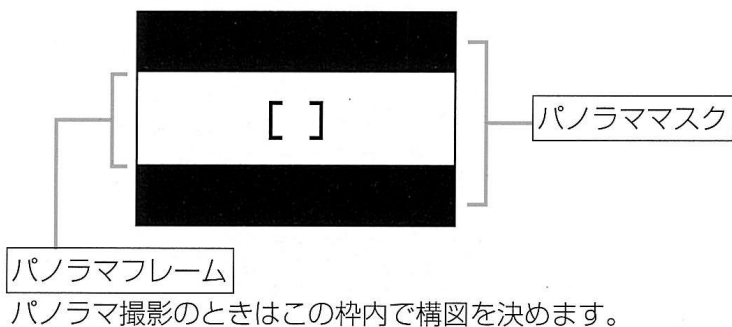
2 ファインダーをのぞく



標準撮影のとき



パノラマ撮影のとき (→26)



3 写したいものの大きさを決める

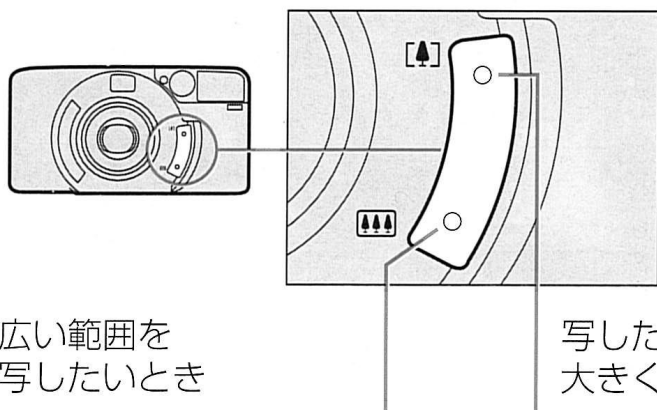
ズームレバーを押して写したいものの大きさを自由に変えて構図を決めることができます。



38mm (広角)



105mm (望遠)



広い範囲を
写したいとき

写したいものを
大きくしたいとき

 (広角側) を押す。  (望遠側) を押す。

風景や集合写真を撮影するときなどに使用します。

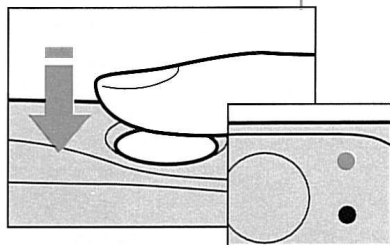
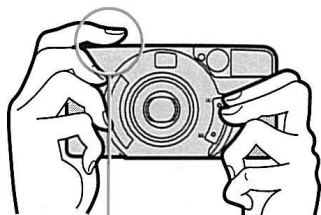
人物をアップで撮影するときなどに使用します。



●ズームレンズ（鏡筒）は繰り出されたまま約4分間放置されると、レンズ保護のため自動的に広角（38mm）にセットされます。

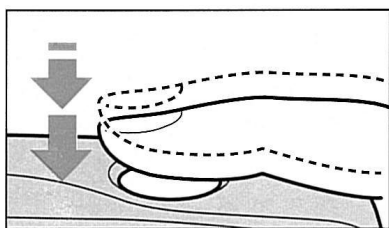
4 シャッターをきる

シャッターボタンは二段階になっています。



① シャッターボタンを軽く押す。

- シャッターボタンは押したままにしてください。
- 緑ランプが点灯したことを確かめます。



② そのままさらにシャッターボタンを押す。

- ➔ シャッターがきれます。
- ゆっくり、静かに押ししてください。



- シャッターボタンを押してからシャッターがきるまで、ほんのわずかですが間があります。撮影終了の目安となるフィルム巻き上げの音がするまでカメラを構えたまま動かさないでください。
- **👁AUTO** では赤目緩和ランプが点灯してから、約1秒間はシャッターがきれません。

カメラの構え方

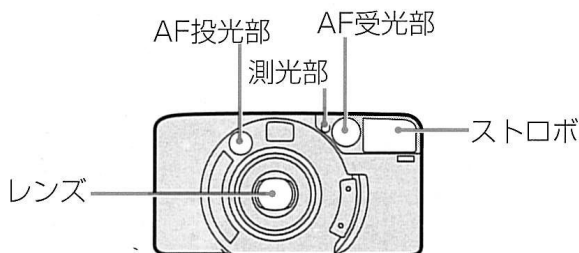
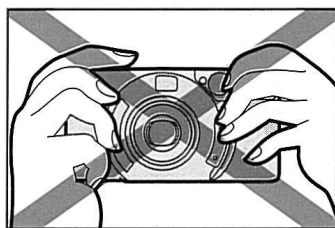
シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。



- 両手でカメラを持ちます。
- ひじを体に軽くつけます。
- カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。



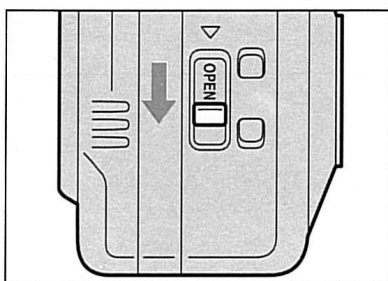
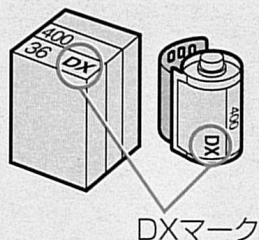
- カメラを構えるときは、レンズ、AF投光部、AF受光部、測光部、ストロボなどに指や髪がかからないように注意してください。



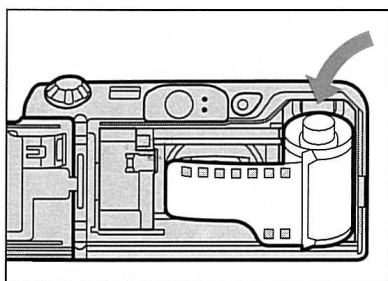
フィルムを入れる

準備

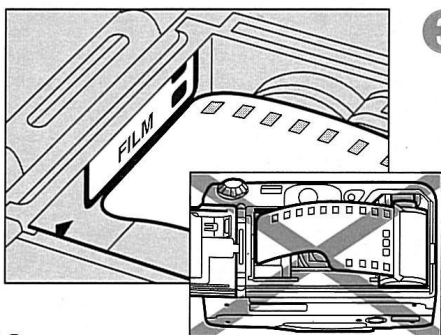
- DXマークのついたフィルムを用意してください。



- 1 背ぶた開閉ノブを押し下げる。
→ 背ぶたが開きます。

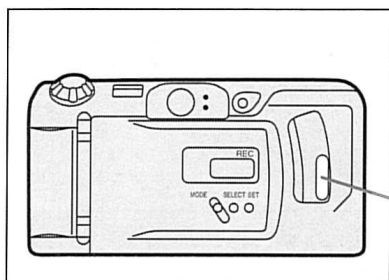


- 2 フィルムを入れる。



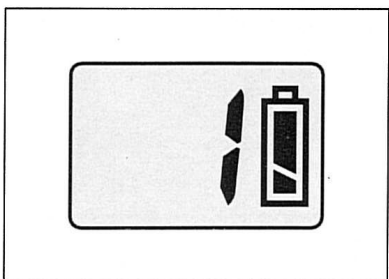
- 3 マークの位置までフィルムを引き出す。
● フィルムがたるまないように引き出します。

④ 背ぶたを閉じる。

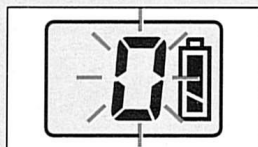


フィルムが入っていることを確認
できます。

⑤ フィルムカウンターに 「1」が表示される。



- フィルムカウンターの「0」が点滅するときはフィルムが正しく送られていません。もう一度入れ直してください。

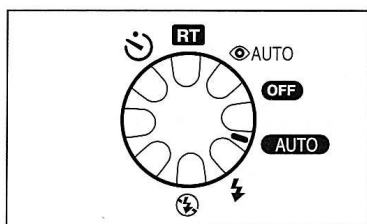


- 使用するフィルムはフィルム感度ISO400をおすすめします。

撮影する（全自動撮影）

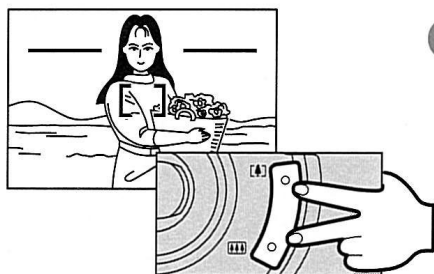
中抜けしにくいAiAF機能ですから、中央部から写したいものが多少ずれてもピントが合います。

また、全自動撮影（ストロボオート）では逆光や暗いところで撮影すると自動的にストロボが発光します。31ページもご覧ください。



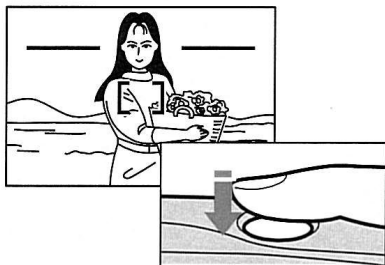
1 モードダイヤルを AUTO に合わせる。

→電源が入り、レンズがセットされます。



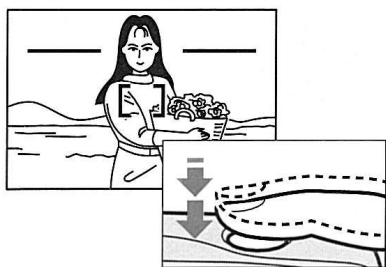
2 写したいものの 大きさを決める。

●ファインダーをのぞきズームレバーを押して、大きさを決めます。



3 AFフレームを合わせ シャッターボタンを 軽く押す。

●シャッターボタンを軽く押しただまにしてください。
●緑ランプが点灯したことを確かめます。
●構図を決めます。

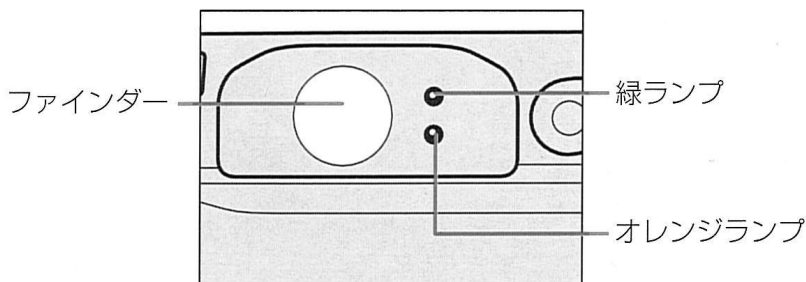


④そのままさらに シャッターボタンを押す。

- 逆光や暗いところではストロボが自動的に発光します。

緑ランプ・オレンジランプについて

シャッターボタンを軽く押したときランプの点灯や点滅で撮影の準備を知らせます。



①緑ランプ

- 点灯……………ピント合わせ完了（撮影準備完了）
- 点滅……………近距離警告 ※1

②オレンジランプ

- 点灯……………ストロボ発光（充電完了）
- 点滅……………手ぶれ警告（ストロボOFF時）※2

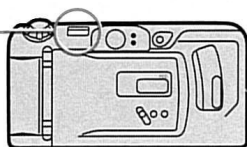
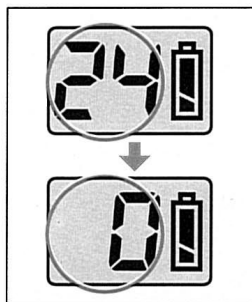


※1 ● 近距離警告が出たら、点滅しない距離まで離れてシャッターボタンを押し直してください。

※2 ● 手ぶれ警告が出たら、三脚などの使用をおすすめします。

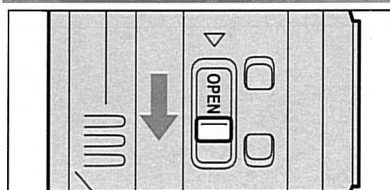
フィルムを取り出す

フィルムは、最後まで撮り終わると自動的に巻き戻されます。



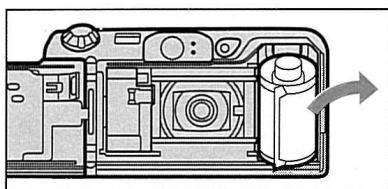
巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていきます。

巻き戻しが終了すると、フィルムカウンターが「0」になり点灯します。



① 背ぶた開閉ノブを押し下げる。

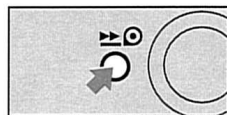
→ 背ぶたが開きます。



② フィルムを取り出す。


フィルムを撮り終える前に取り出すには

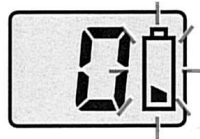
- 底面にあるフィルム途中巻き戻しボタンを押します。
- ストラップ止め具の操作突起を使用します。



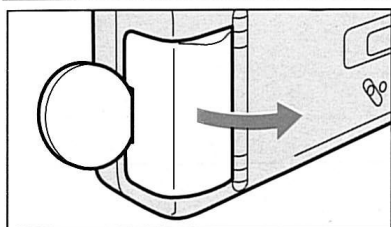
- 背ぶたを開ける前に必ずフィルムカウンターが「0」であることを確かめてください。「0」でないときは、途中巻き戻しボタンを押してください。
- 規定枚数以上撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされてしまうことがあります。

電池を交換する

表示パネルに  が点滅したときは、電池を交換してください。

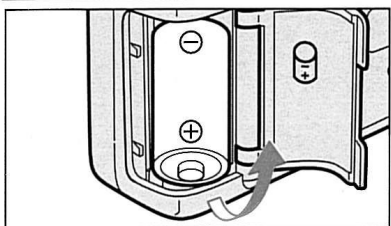


[使用電池]
リチウム電池CR123Aまたは
DL123Aを1個使用



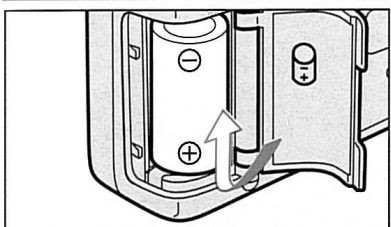
1 電池ぶたを開く。

- コインなどをみぞの部分に差し込んで開きます。



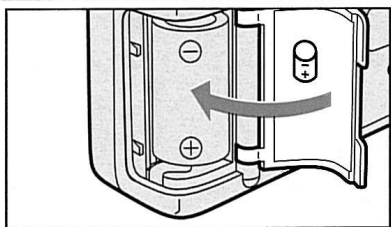
2 古い電池を取り出す。

- 電池の下側（+側）から取り外します。




3 新しい電池を入れる。

- +-を正しく合わせ、電池の上側（-側）から入れます。

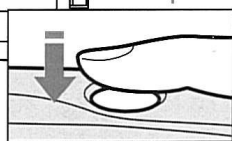
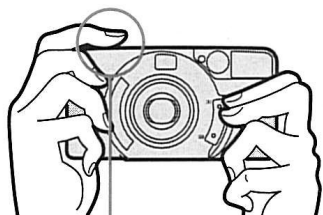


4 電池ぶたを閉じる。

- パチッと固定される音を確認して閉じます。
- ➔ 表示パネルに  が表示されます。
- ➔ デート表示パネルの日付が「94 1 1」に変わります。日付と時刻をセットし直してください。(→29)

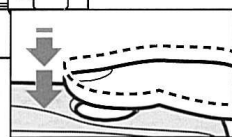
フォーカスロック撮影

写したいものをファインダーの端に置いて撮影するときはフォーカスロック撮影をします。



① AFフレームを合わせ
シャッターボタンを
軽く押す。

- シャッターボタンは軽く押しただままにしてください。
- 緑ランプが点灯したことを確かめます。



② 軽く押しただまま
構図を決め、
シャッターボタンを
押す。



● 構図を決めたあとに撮影距離が変わると、ピントが変わりますのでやり直してください。

AiAFについて

Ai=Artificial intelligence:人工知能、AF=オートフォーカス

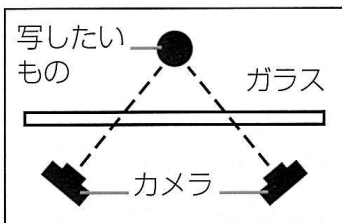
AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピントを合わせる場所を的確に判断する最新のメカニズムです。これは、数千点の写真を分析し、そのデータとキヤノン独自のノウハウに基づき、開発された機能です。



- 写したいものが中央部分から多少はずれても、シャッターボタンを押すだけで写したいものにピントを合わせます。



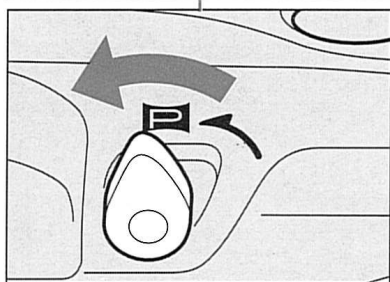
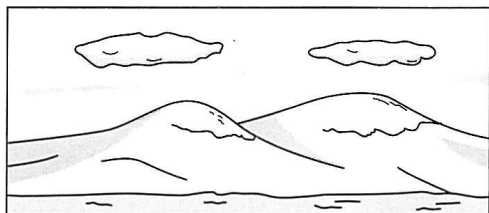
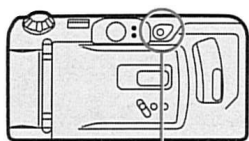
- 写したいものの手前に障害物があった場合にも的確に写したいものを選びピントを合わせます。



- ガラス越しで撮影するときには、ガラス面から約20cm離れて、斜めの位置から撮影してください。なお離れすぎるとガラスにピントが合うことがあります。

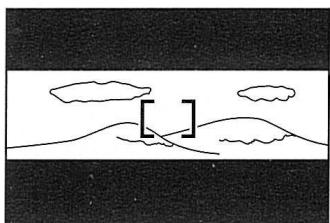
パノラマモード撮影

風景や集合写真を撮影するときに効果的です。パノラマモード撮影のときは2m以上離れてください。



① ノブをパノラマ側に回転させる。

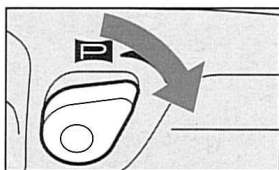
→ファインダー内にパノラママスクが出ます。



② 構図を決め、シャッターをきる。

パノラママスク

標準モードに戻すとき



元の位置に戻す。

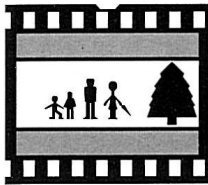
●パノラママスクが消えます。



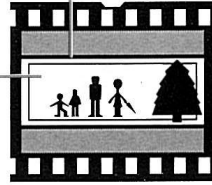
●パノラマモードでも日付や時刻を写し込むことができます。

パノラマプリントについて

ここでいうパノラマとは、カメラ側で標準撮影の1コマ分の上下を遮断して約13×36mmの画像を写し込み、プリント段階で約12×35mmの範囲をパノラマサイズ（89×254mm）に引き伸ばすものです。



写し込まれる範囲



プリントされる範囲

パノラマモード撮影をするとフィルム上では、上下をカットした形で撮影されます。撮影枚数は変わりません。

パノラマプリントでは、フィルムに写っていてもプリントされない部分があります。



パノラマモードで撮影したフィルムを通常のプリントにすると画面の上下に黒い帯が写し込まれます。

パノラマモード撮影をしたとき、通常の現像・プリントとは異なります。添付のパノラマシールを貼って、現像/プリントを依頼すると便利です。

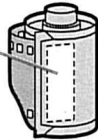


パノラマモード、標準モードの両方で撮影したとき



パノラマモードで撮影したとき

パノラマシール
貼り付け位置



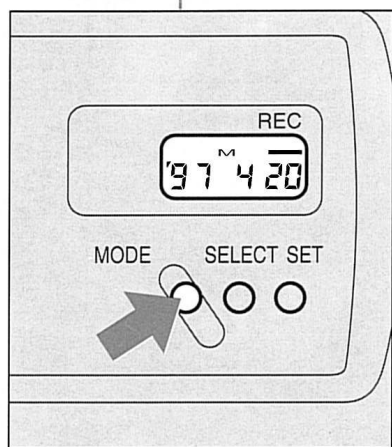
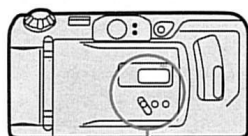
- DXコードおよびバーコードにかからないように貼ってください。
- パノラマシールが無くなりましたら、裏表紙のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。



- パノラマモード撮影したときは通常の同時プリントに比べ料金、日数がかかることがあります。

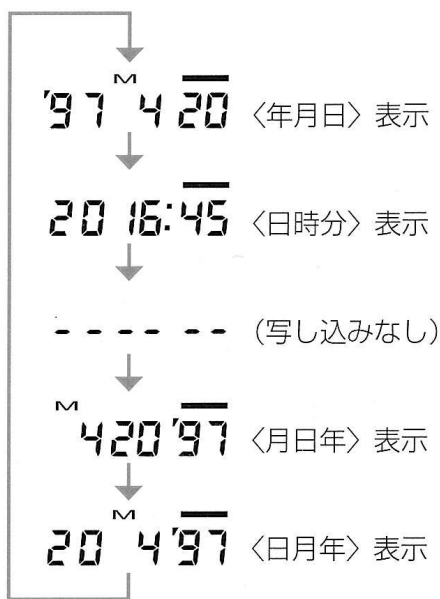
日付／時刻を写し込む

撮影した日付や時刻を写真の右下に写し込むことができます。2019年までのオートカレンダーが組み込まれ、撮影のたびに日付をセットする必要はありません。
パノラマ写真にも同様に写し込むことができます。




モードボタンを押す。

→ 押すたびに表示が変わります。

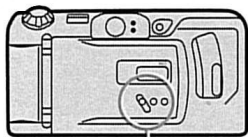


● いずれかを選び、撮影します。

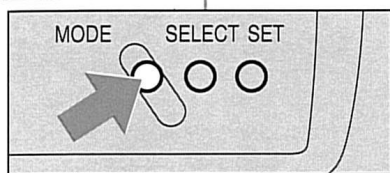


● 写し込み確認マーク  は、シャッターをきると点滅して写し込みを知らせます。

日付／時刻をセットする。

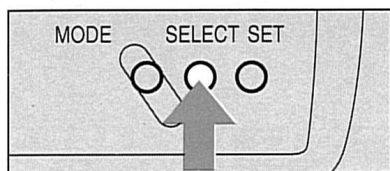
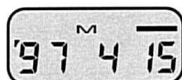


電池を交換して表示パネルの日付が「94 1 1」に変わったときや、海外旅行などで日付／時刻を修正するときは次のようにします。



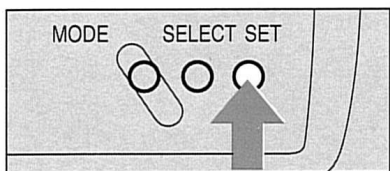
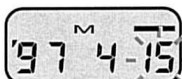
① モードボタンを押す。

- 修正する日付（時刻）を表示させます。



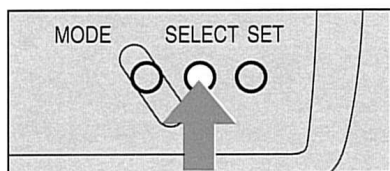
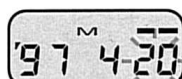
② セレクトボタンを押す。

- 修正する数字を点滅させます。

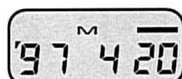


③ セットボタンを押す。

- 正しい数字をセットします。



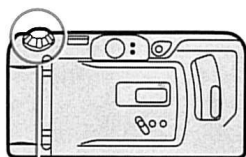
④ すべての数字が点灯するまで、セレクトボタンを押す。



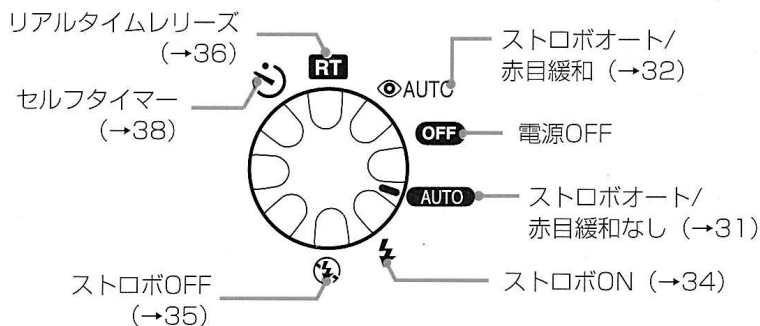
- ストラップ止め具の操作突起を使用します。
- セットボタンは1回押すと1つ進み、押し続けていると連続早送りになります。

撮影モードを変える

ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めたりすることができます。写したいものや撮影場所に合わせて、撮影モードを選ぶことができます。

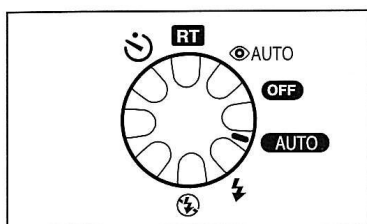


モードダイヤルを回して、
撮影モードを合わせる。



1 ストロボオート／赤目緩和なし… **AUTO**

逆光や暗いときは、自動的にストロボが発光します。
人物以外の撮影をする時、または人物を撮影する場合でも赤目緩和機能を使用せずにすぐにシャッターをきりたいときは、このモードにします。



モードダイヤルを回して
AUTO に合わせる。

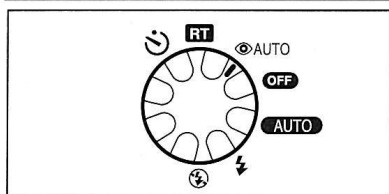
ストロボの届く距離


フィルム感度	38mm (広角)	105mm (望遠)
ISO 100	0.6m~6.2m	0.6m~2.4m
ISO 400	0.6m~12.4m	0.6m~4.8m

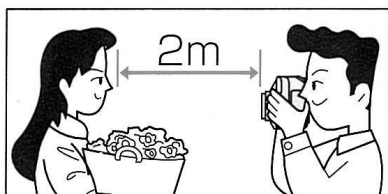
(カラープリント用フィルム使用時)

2 ストロボオート／赤目緩和… AUTO

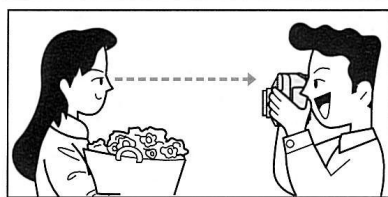
人物撮影で赤目を緩和したいときは、このモードにします。逆光や暗いときは、自動的に赤目緩和ランプが点灯した後、ストロボが発光します。



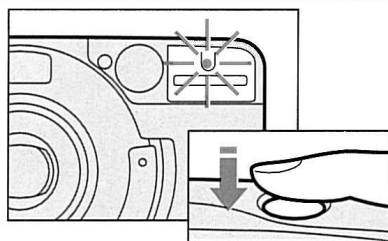
- 1 モードダイヤルを回して、撮影モードを  AUTO に合わせる。



- 2 写したいものに2m程度まで近づく。
● 赤目緩和ランプは2m以内で効果が出ます。

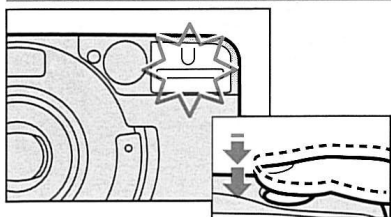


- 3 声をかけてカメラを注視してもらう。
● 写される人がまっすぐランプを見ないと赤目緩和の効果が出ません。



- 4 シャッターボタンを軽く押す。
→ 赤目緩和ランプが点灯します。このとき、約1秒間はシャッターがきけません。
● シャッターボタンは押したままにしてください。


撮影モードを変える



- ⑤ 約1秒間が過ぎたらさらにシャッターボタンを押す。
→ストロボが発光しシャッターがきれます。


赤目緩和撮影機能について

暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く写ることがあります。これを赤目現象といい、ストロボの光が目の網膜に反射して起こります。

赤目緩和モード  **AUTO** ではストロボ発光の前に赤目緩和ランプを約1秒間点灯させ、瞳孔を閉じさせることで赤目現象の発生を緩和します。

なお、赤目緩和効果の度合には個人差があります。



- 赤目緩和ランプが点灯するとき、効果を高めるために約1秒間はシャッターはきれません。すぐにシャッターをきりたいときはモードダイヤルで **AUTO**、、**RT** のいずれかを選んで撮影してください。

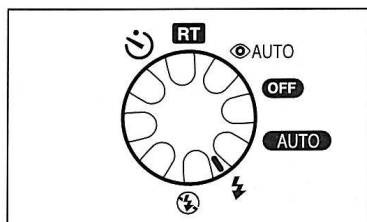


- 室内をできるだけ明るくし、レンズを広角側にして撮影すると赤目緩和効果がさらにあがります。

3 ストロボONモード…… ⚡

撮影場所の明るさに関係なくいつでもストロボが発光します。

日中の逆光時や被写体の影をやわらげるときは、このモードにします。



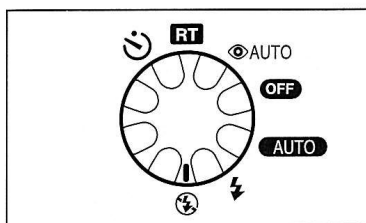
モードダイヤルを回して
⚡ に合わせる。

4 ストロボOFFモード……

撮影場所が暗くても、ストロボは発光しません。
夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、室内照明を利用しての撮影をするときは、このモードにします。



応用編



モードダイヤルを回して
 に合わせる。

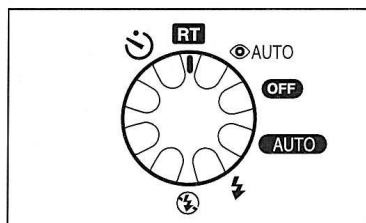


- 暗い場所でのストロボOFFモード撮影は、シャッタースピードが遅く（最長約2秒）になるので手ぶれに注意してください。
- オレンジランプが点滅（手ぶれ警告）したときは、しっかりした台の上に置くか、三脚などを利用してください。

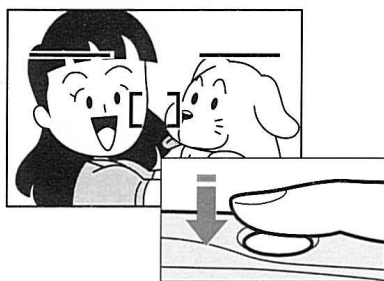
5 リアルタイムレリーズモード… RT

通常の撮影は、緑ランプの点灯を確認したあとさらにシャッターボタンを押すと、わずかに間をおいて実際の撮影が行なわれますが、リアルタイムレリーズモードでは、瞬時（0.03秒後）に撮影を行なうことができます。

子供の表情や動きの変化など、一瞬のシャッターチャンスをとらえるときは、このモードにします。



1 モードダイヤルを RT に合わせる。



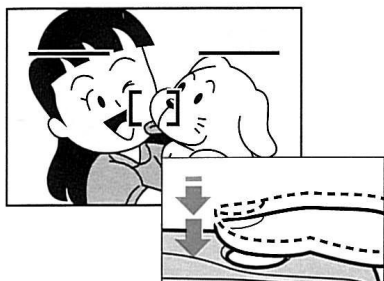
2 AFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押したままにする。

- 一瞬ズームするような音がします。
- 緑ランプが点灯したことを確かめます。
- フォーカスロック撮影は、通常撮影と同様に行うことができます。（→24）



- シャッターボタンを一気に押した場合は、リアルタイムレリーズとなりません。
- 構図を決めたあとに撮影距離が変わると、ピントが変わりますのでやり直してください。

撮影モードを変える



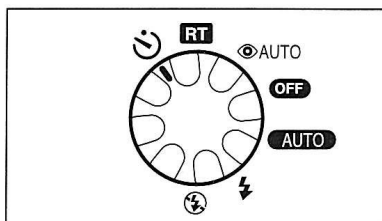
- ③ シャッターチャンスがきたら、そのままさらにシャッターボタンを押す。



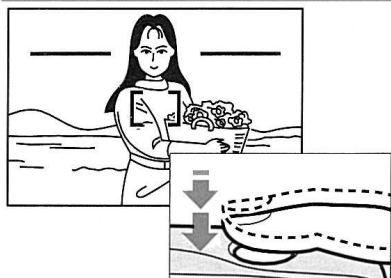
- 中央1点測距に自動セットされますので、ファインダー中央のAFフレームを写したいものに合わせてください。
- ストロボモードは、ストロボオート/赤目緩和なしになります。

6 セルフタイマーモード……☺

セルフタイマーは明るいところでは「ストロボオート／赤目緩和」、暗いところでは自動的にスローシンクロ（→39）で撮影されます。カメラはしっかりと台の上に置くか、三脚を利用してください。



1 モードダイヤルを回して☺に合わせる。



2 AFフレームを合わせ、シャッターボタンを押す。

→セルフタイマーランプが点滅（1回／秒）し、約10秒後にシャッターがきれます。本体表示パネルに残り秒数を表示します。



●カメラの直前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピントがぼける原因となります。



- シャッターがきれ約2秒前になるとランプの点滅がさらに速くなります。ただし、赤目緩和機能作動時は、シャッターがきれ約2秒前に点滅から点灯に変わります。
- フォーカスロック撮影は、通常撮影と同様に行なうことができます。（→24）

セルフタイマーを途中でやめたいとき

- モードダイヤルを回して、他のマークにする。

スローシンクロについて

夕暮れや、夜景などを背景にして人物を撮影するときに効果的な機能です。シャッタースピードを低速にすることでストロボの光が届かない遠くの背景まで写し込むことができます。



このカメラでは、夕暮れや夜景など暗い所でセルフタイマーを使用した時は、自動的にスローシンクロモードになります。



- スローシンクロでは、シャッタースピードが遅く（最長約1/3秒）になりますので、ストロボが光った後も、写される人がすぐには動かないようにしてください。

こんなときは

「故障かな」と思っても、修理に出す前に、もう一度次の表でその部分を確認してください。

症状	原因	解決方法	ページ
 電池チェックマークが点滅する	●電池が消耗している	●電池を交換する	23
 電池チェックマークが表示されていない	●電池が入っていない	●電池を入れる	23
	●電池が逆向きに入っている	●電池を正しく入れ直す	23
	●電池が完全に消耗している	●電池を交換する	23
シャッターがきれない	●モードダイヤルが OFF になっている	●撮影条件に合わせてモードダイヤルを合わせる	12.30
	●電池が消耗している	●電池を交換する	23
	●フィルムが正しくセットされていない	●フィルムを正しく入れ直す	18
	●巻き戻されたフィルムがカメラに入っている	●フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする	18
	●赤目緩和ランプが点灯してから約1秒間はシャッターがきれない	●シャッターがきれなるまで押し続ける ●ストロボモードを切り換える	33 30
写真がボケて写っている	●シャッターをきるときに、AF受光/投光部をおおっていた	●髪や指などでAF受光/投光部をおおわないように気をつける	17
	●セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってシャッターボタンを押した	●カメラの直前に立たないように気をつける	38
	●シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ぶれ)	●シャッターボタンを静かに押す	16
表示パネルに「H」が点滅表示される	●自己診断機能で異常を検出した	●電源を入れ直す。それでも「H」が表示されているときは、電池を一度取り出し、入れ直す	12

Q&A

Q1 リバーサルフィルムは使えますか？

A1 はい、使うことができます。ただし、DXマーク付きのフィルムISO25、50、100、200、400、800、1600のものを使用してください。

Q2 フィルム感度 (ISO) とは何ですか？

A2 フィルムが光を感じる度合を数字で表わしたもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常の撮影ではISO400のフィルムをお勧めします。

Q3 DXマークのないフィルムは使えますか？

A3 はい、使うことができます。ただし、DXコードのついていないフィルムを入れた場合はISO 25にセットされます。フィルム感度ISO 25またはDXマークのついていないフィルムは、フィルム室に入れ背ぶたを閉じ1~2回シャッターボタンを押してください。

Q4 写真に写し込まれた日付が読みにくいのですが？

A4 写し込み位置の背景が明るくありませんか？ 暗いものができるようにしてください。また、黄色系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。

主な仕様

- 形式……………ズーム内蔵35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ
- 画面サイズ……………24×36mm (標準サイズ) 13×36mm (パノラマサイズ)
- レンズ……………キヤノンレンズ 38-105mm F3.8-9.9
- 焦点調整……………Aiアクティブオートフォーカス
- 撮影距離……………0.6m～∞
- シャッター形式……………絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
- ファインダー……………実像式ズームファインダー
- ファインダー情報……………ファインダー内：撮影範囲枠、近距離撮影範囲枠、パノラママスク、AFフレーム
- ファインダー接眼部……………撮影OKランプ兼近距離警告 (緑色LED)
手ぶれ警告、ストロボ充電完 (オレンジ色LED)
- フィルム装填……………自動 (自動空送り付き)
- フィルム巻き上げ……………自動
- フィルム巻き戻し……………自動、終了後自動停止、途中巻き戻し可能
- フィルムカウンター……………順算式、フィルムの移動に連動 フィルム空送り不良表示あり
- フィルム在否確認……………背ぶたフィルム確認窓あり
- セルフタイマー……………電子制御式、シャッターボタンにより作動、約10秒後レリーズ、ボディ正面セルフタイマーランプ/赤目緩和ランプ点滅表示、フィルムカウンターに残り秒時カウントダウン
- 測光作動範囲 (ISO 100) ……
- 全自動モード/ストロボONモード：
- 広角：1/40 F3.8～1/550 F15 (約EV10～EV17)
- 望遠：1/100 F9.9～1/450 F32 (約EV11～EV19)
- ストロボOFFモード：
- 広角：2秒 F3.8～1/550 F15 (約EV3～EV17)
- 望遠：2秒 F9.9～1/450 F32 (約EV5.7～EV19)
- セルフタイマー (全自動+スローシンクロ)：
- 広角：1/3 F3.8～1/550 F15 (約EV6～EV17)
- 望遠：1/3 F9.9～1/450 F32 (約EV8.7～EV19)
- フィルム感度……………ISO 25～3200、DXコードにより1段ごとに自動セット
- 内蔵ストロボ……………低輝度逆光時自動発光式内蔵型ストロボ
- ストロボ連動範囲……………広角：0.6～6.2m 望遠：0.6～2.4m
(カラープリント用フィルムISO 100使用時)
- 広角：0.6～12.4m 望遠：0.6～4.8m
(カラープリント用フィルムISO 400使用時)
- ストロボ充電時間……………約6秒

撮影モード切り換え…ダイヤルによる

- 1 赤目緩和なしオートモード：低輝度逆光時自動発光
- 2 赤目緩和付きオートモード：低輝度逆光時自動発光
- 3 ストロボONモード：常時発光
- 4 ストロボOFFモード：発光禁止
- 5 セルフタイマーモード：低輝度逆光時自動発光
(スローシンクロあり)
- 6 リアルタイムレリーズモード：低輝度逆光時自動発光／赤目緩和なし／中央1点測距／レリーズタイムラグ0.03秒

写し込み機能……………方式：液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵
オートカレンダー（西暦2019年まで、うるう年自動修正）
写し込みデータ：デート（4通り）
文字形式：7セグメントLCDによる
写し込みの色：オレンジ色

電源……………リチウム電池 CR123AまたはDL123A 3V 1個

撮影可能本数……………24枚撮りフィルム 17本（ストロボ50%使用時）

パノラマモード撮影…パノラマ標準サイズ切り換えノブにより随時撮影可能

大きさ……………123（幅）× 64（高さ）× 50（奥行）mm

質量……………255g（カメラ用電池別）

- ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。
- 都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

- 1 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
- 2 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
- 3 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部
〒108 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

カメラ相談室（製品取り扱い方法ご相談窓口）

東京 〒108 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F） ☎(03) 3455-9353

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

札幌	〒060 札幌市北区北七条西1-1-2（SE山京ビル1F）	☎(011) 728-0665
仙台	〒980 仙台市青葉区国分町3-6-1（仙台パークビル1F）	☎(022) 217-3210
新潟	〒950 新潟市紫竹山1-10-26	☎(025) 246-8765
大宮	〒331 大宮市桜木町4-247（OSビル1F）	☎(048) 649-1450
千葉	〒260 千葉市中央区末広2-13-2	☎(043) 268-5261
銀座	〒104 東京都中央区銀座5-9-9	☎(03) 3573-7834
新宿	〒163-02 東京都新宿区西新宿2-6-1（住友三角ビル地下1F）	☎(03) 3348-4725
横浜	〒220 横浜市西区北幸2-6-26（HI横浜ビル2F）	☎(045) 312-0211
静岡	〒420 静岡市常盤町2-6-8（トーカイビル3F）	☎(054) 253-9010
名古屋	〒461 名古屋市中区東桜2-2-1（高岳パークビル1F）	☎(052) 939-1830
金沢	〒920 金沢市本町1-5-2（リファール1F）	☎(076) 233-6608
京都	〒604 京都市中京区烏丸通二条下ル秋野々町513（京都第一生命泉屋ビル2F）	☎(075) 255-5953
梅田	〒530 大阪市北区中崎西2-4-12（梅田センタービル別館）	☎(06) 373-8181
神戸	〒651 神戸市中央区雲井通り4-2-2（神戸いすゞリクルートビル8F）	☎(078) 291-0535
岡山	〒700 岡山市柳町2-6-25（朝日生命岡山柳町ビル3F）	☎(086) 221-8678
広島	〒730 広島市中区大手町3-7-5（広島パークビル1F）	☎(082) 240-6711
高松	〒760 高松市紺屋町4-10（鹿島紺屋町ビル1F）	☎(0878) 23-4681
福岡	〒812 福岡市博多区美野島1-2-1（キヤノン販売福岡ビル1F）	☎(092) 411-4173
沖縄	〒900 那覇市松山1-1-19（安田生命那覇ビル8F）	☎(098) 866-7933

カメラ技術センター（修理サービスご相談窓口）

東京	〒140 東京都品川区東品川1-2-5（東信天王洲ビル5F）	☎(03) 3450-2731
大阪	〒540 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3	☎(06) 941-1076

営業所

大分	〒870 大分市城崎町1-3-31（富士火災大分ビル）	☎(0975) 37-4117
----	-----------------------------	-----------------

休業のご案内

新宿（日曜日、祝日、第3木曜日、） その他（土・日曜日、祝日）

営業時間のご案内

新宿：10：00～18：00 梅田：9：30～18：00 その他：9：00～17：30